

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)
進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

江府町ならではのナンバーワン

弱者は弱者なりに、強者は強者なりに戦い、どこにも負けない「圧倒的ナンバーワン」の領域をつくり、増やして、変化と競争に強くなつて生き残ることを目指す。これがランチェスター戦略の核になる考え方です。根性論に頼らず、勝てる場所で勝っていく、大勝を狙わず、小さな勝利を積み重ねる。そして、勝たせて人を育てることを方針としています。

ランチェスター戦略学会の副会長で立教大学の客員教授でもある福田秀人さんは、私が鳥取県の東京本部に勤務していた頃からの知人です。その福田さんがランチェスター戦略に関心があり、東京や大阪等で活躍されている経営者の皆さんを10数名引率して、5月の連休明けに江府町を訪問されました。鳥取市、智頭町、岩美町等を經由しての江府町入りでしたが、江府町では休暇村奥大山に宿泊、カサラファーム、サントリー奥大山ブナの森工場、ミタラーキヤン



▲地元の方のご協力により、参加者の皆さんは都会では味わえない時間を過ごされました

プ場等を1泊2日で回られました。江府町に関する情報は各メンバーに事前に伝えられていましたが、実際に現地に来てみると、都会では味わうことのできない感動がたくさんあったようです。「ピユアなものを食べると、人はピユアなマインドになるのですね。皆様の笑顔に一点の曇りも嘘もない。本物志向の人の満点の笑顔。冬の笑顔もみたい。また銀世界の頃にこの場で皆さまと一緒に会えますよ。カサラファームでの交流会後の参加者のコメントの一つです。江府町には素晴らしいものがたくさんあります。その一つ一つをさらに磨き上げ、発信することで、どこにも負けない江府町ならではのナンバーワンの領域を増やしていきたいと思えます。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

現在、江府町には本庁舎、山村開発センター、防災・情報センター、総合健康福祉センター、子供の国保育園、と五つの役場庁舎にわかれています。

今年三月には、それぞれの職場環境について職員向けのアンケートを実施しました。設問は19問あり、「お客様と打合せをする環境は十分か」「課内のコミュニケーションはとりやすいか」といった、自分の働く環境を見直す内容のものとなっています。

四月から五月にかけては、アンケートの集計を行いました。建物内でのコミュニケーションのとりやすさ、自席の周りとの話しやすさについては、全体的に満足しているとの傾向が見られました。

一方、他の建物とは距離があるため、コミュニケーションがとりづらい、協働が難しいといった声が多く上がり、分庁舎であることの弊害が浮き彫りになっています。

加えて、文書の保管、探しやすさ、照明や空調の程度、駐車スペースの快適さといった点にも改善の余地があるという意見が多く、現在の職場を改めなければならぬという結果になりました。もちろん、新庁舎においてはこれらの問題をクリアしな



▲現在の役場本庁舎の様子

ければなりません。公共サービス向上のために職場環境の改善に取り組みながら、職員の働きやすい新庁舎についても併せて考えていきたいところです。

さて、話は変わりますが、現在プロジェクトチームでは「福祉とまちづくり」をテーマにした講演会の開催を計画しています。

一〇年先、二〇年先の人口がさらに減り高齢化が進んだ江府町で、どうすれば幸せな生活を送ることのできる環境をつくれるのか……この難しい問題に向き合うため、「さわやか福祉財団」の方を講師に招いて講演をしていただくものです。

詳しい内容や日程については、追ってみなさまにお知らせいたしますので、どうぞご期待ください！

動画で町報こうふ!

以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。